

深浦校舎図書だより

冬休み中に読んだ本の紹介

※今回は、皆さんが選んで新たに購入した本の紹介です。

(「ある少女にまつわる殺人の告白」を除く)

地球は食べ物 いきもの獲って食べてみた日記 (ホモサピ／著)

小角 匠斗



みなさんは生き物が好きだろうか。ここで言う生き物とは一般的な「食用」ではなく、「ゲテモノ」と言われる生き物だ。「ゲテモノなんて食えねーよ。」そう思う人が大半だと思う。しかし、この本では純粋に「美味しい生き物」として紹介している。きっとこの本を読み終えた頃には、タモ網を持って川へ向かっていることだろう。

私は物心ついた時から、網を片手に森に行き、山に山菜を取りにいき、海に魚を釣りに行くような、いわゆる野生児だった。そんな私がこの本を進める理由は、生き物と触れ合ってみてほしいからだ。人間関係で疲れた時は、純粋で穢れのない生き物と触れ合い、リフレッシュすることも1つの手段だ。

深夜廻 (黒 史郎／著)

竹内 仁

この本は2人の少女が暗く長い夜の中でナニかに追われつつ物語が進んでいくという内容です。私は、少女達が協力し互いを大切にしている姿を見て、改めて絆について学ぶことができました。またホラー小説なので怖い場面もあり、ハラハラしながら読むことができます。私も、夢で真っ暗の中、よく分からないものに追われたことがあるので、少女達が経験した恐怖は計り知れないものだと思います。夜の怖さを知りたい方やホラーが好きな方はぜひ読んでみて下さい。



マスカレード・ホテル (東野 圭吾／著)

三上 航平



この本は、ホテル「コルテシア東京」を舞台に、フロントクラークの山岸と刑事の新田が、連続殺人事件に挑むという内容の小説です。

私がこの本を通じて皆さんに伝えたい事は、自分の仕事に信念を持つことです。この物語の主演となる山岸と新田は、それぞれ違った信念を持って事件に立ち向かっています。私は彼らの活躍を通して、自分の仕事に信念を持つことの大切さを知りました。あと3か月ほどで高校を卒業し、社会に出て働くことになるので、私も彼らのように信念を持って働くようにしたいです。また、この本は意外な所に伏線が隠れていて、ミステリー小説としても楽しんで読むことができます。ぜひ、一度この本を読んでみてください。

世界を超えて私はあなたに会いに行く (イ・コンニム／著)

岩谷 心愛良

私が紹介するのは、「世界を超えて私はあなたに会いに行く」という本です。
2016年を生きる15歳のウニユと、1982年を生きる同じ名前の少女ウニユが手紙のやりとりをすることから物語は進んでいきます。
話の中で、お互いがお互いの家庭を羨ましく思う場面があるのですが、私も他の人を羨ましく思った経験があるので共感することができました。
最初は現実味が無いとを感じる内容ですが、読んでいくうちに続きが気になってどんどん読み進めたくくなりますし、とても感動する本です。ぜひ読んでみてください。



ある少女にまつわる殺人の告白 (佐藤 青南／著)

黒滝 真歩



この本は、内縁関係の父から虐待を受けている少女について、児童相談所の元所長らが語る忌むべき事件の物語です。

私は家族と良い関係を築けています。しかしこの本を読んで、円満な関係の家庭を築けていることが当たり前ではないことを知りました。虐待についての本なので辛い内容ですが、児童相談所の大変さや虐待の恐ろしさを感じることができます。一度虐待をしてしまったら、その連鎖は続きます。良い関係を築くことができているのはやはり、家族のおかげだと痛感することができました。

母性 (湊かなえ／著)

古川 芹夏

この小説は、娘を愛せない母親と、母親に愛されたい娘が登場する親子のミステリー小説です。

母親の目線からと娘からの目線のどちらからも描かれています。同じ体験を振り返っているはずなのに、母親と娘では、考えていたことや感じていたことが全く違っているところが面白いと感じました。母親が娘よりも実母のことを優先しようとしたら、娘に対して冷たい態度をとったりする場面がとても不気味で面白いので、ぜひ読んでみてください。



ウチら棺桶まで永遠のランウェイ (Kamio／著)

斉藤 紫菜



この本は、私が普段から見ているユーチューバーのケミオさんが書いた本なので読みたくて選びました。

ケミオさんはバイトをして携帯を買ったり、アメリカに留学するためにお金を貯めたりして自分の夢を叶えていました。私は全て両親のお金で生活しているのでケミオさんはすごいと思いました。私は今年から親元を離れて生活していくので、自分がやりたいことや欲しいものは自分が働いて稼いだお金で手に入れたいと思いました。

本は非常に読みやすく、書かれている言葉が現代社会に近いので面白かったです。ケミオさんはユーチューブもやっているのぜひ見てください。

ライ麦畑でつかまえて (J. D. サリンジャー／著)

笹森 優来

物語の主人公は、ホールデンという16歳の高校生の青年です。ホールデンは、とある理由から高校を退学になり、家にも帰らずに様々な場所をさまよい歩きます。

この本は、子供の視点から見た、大人や社会に対しての不満などの感情を描写しています。子供や思春期の頃は、何に対しても過敏に反応してしまったり、理不尽に思ったりすることがあります。ホールデンもその一人で、私も同じような考え方をした事があるため、共感を覚えました。思春期特有の不安定さを上手く表した作品だと思います。ホールデンと同年代の人におすすめしたい一冊です。



川のほとりに立つ者は (寺地 はるな／著)

竹内 結南



主人公の清瀬と恋人の松木はすれ違いが続いていました。その原因は、松木が清瀬に隠し事をしていたからです。松木が怪我で意識不明のまま入院してしまうことから、隠し事をしていた理由を知ることになります。

清瀬は松木の行動を表面だけで判断していました。私も、表面だけで決めつけてしまう時があります。この本は、他人の行動の意味や価値観について考えることができます。また、清瀬と松木の二人の視点から物語を楽しむことができます。そして、ミステリー要素もあり、最後までサクサクと読むことができます。

ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 (東野 圭吾／著)

中林 千花

この本は、コロナ禍の影響で寂れ続ける町で起きた殺人事件を、元マジシャンの武史が被害者の娘と共に謎を解くため奮闘する物語。ミステリー小説なため、詳しいことは書けないが武史のキャラが濃くて、重暗い題材も苦しく感じることなく読みやすい作品だと感じた。2020年の作品のため、コロナ禍が始まって間もなくの筈なのにそれほど事件に絡めながらも展開を進められるのかと驚き、とても面白かった。

私はこの作品を読んで、進むことの大切さを感じた。周りと比べて勝手に1人で落ち込む傾向のある私は、武史が自分の持つ力を活かせるように多少強引にも進む姿が印象に残った。流石に犯罪まがいの事をするのは良くないが、思い切りのある生き方が出来たらいいなと思った。



その日のまえに (重松 清／著)

永谷 来姫



あなたは、家族が、友達が、自分が亡くなってしまうと分かっていたら、突然亡くなってしまうたら、何ができると感じ、何をしようと思いますか？

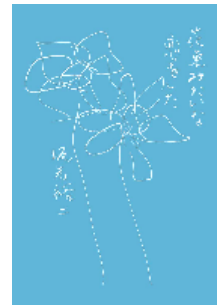
私はこの本を読んで、高校生になる直前にひいおばあちゃんが亡くなった時のことを思い出しました。私は、ひいおばあちゃんの命がもう長くないと分かっていた為、初めは会うのを躊躇っていました。しかし、亡くなる3日前にお見舞いに行き、写真を撮ったりお話ししたりしました。今思い返すと、あの時に会って直接感謝を伝えられて良かったと思います。

この本は、普段自分のことを支えてくれている人たちや当たり前の日常に感謝しようと思える一冊です。

花束みたいな恋をした (黒住 光／著)

西崎 未空

この本は、恋愛の価値観や人それぞれの考え方が感じられる本です。本では恋愛を中心にしていますが、これは友達同士でもよくある価値観の違いだと思いました。学校生活を送っていると、誰しも一度は友達との価値観や考え方の違いを感じるはず。私も、実際にグループで意見を出し合う時など、自分と考えが違うと、考える視点が違うのだと思うことがあります。でもそれはダメなことではなくて、人それぞれの考えがあることなのでいいことだと思います。この本では価値観の違いで動く感情や、すれ違う場面などが描かれています。ぜひ読んでみてください。



今夜、この世界からこの涙が消えても (一条 岬／著)

堀内 彩名



この本は、「今夜、世界からこの恋が消えても」という本のもう一つの物語です。大学一年生の成瀬透は2年生の綿矢泉と出会い恋をします。告白をすると「私を本気で好きにならないこと」という条件を出されました。そこで一回付き合いますが、その後別れてしまい、しばらく疎遠に。その間、泉はある人の影響で小説を書き始めます。一方成瀬は大学を休学までして、写真について学びます。

このように一つのことに向かって進む姿や年齢が、自分が一つのことに向かって努力した時と重なり、共感できる部分もあります。恋も夢も諦めたくないという方、感動する話が好きな方など、読む人によって見方が変わる本だと思うので、多くの方に勧めたい一冊です。

君が落とした青空 (櫻 いいよ／著)

村上 舞歩

この本は、主人公の女子高生が事故で亡くなった恋人を救うためにタイムリープし、何度も起こる同じことを変えようと奮闘する話です。私はこの本を読んで、何気ない一日の中でも、素晴らしいことや幸せがたくさんあることを感じました。

私は、普段の日常でやり直したいと思ったことが何度かあります。しかし、やり直すのではなく、少し意識を変えてみようと思えました。これから笑顔で新しい明日を迎えられるように今を過ごしていきたいと思いました。

